

令和6年度 第4回国立市文化財保護審議会 議事録(要旨)

1. 日 時 令和7年3月31日（月）午後2時から

2. 会 場 くにたち市役所 教育委員室

3. 出席者 白井委員、佐伯委員 和田委員 杉田委員、馬場委員、
玉蟲委員、長田委員

[国立駅周辺整備課] 加藤課長 外立係長

[まちの振興課] 田代課長 藤堂係長

[事務局] 井田課長、大西係長、萩原職員、竹尾職員、由良職員

4. 内容

【議題】

（1）前回審議会議事録について

前回審議会議事録の説明をし、確認された。

（2）旧国立駅舎木製改札について

国立駅周辺整備課より令和10年度末の完成を目指す、国立駅南口駅前広場整備について資料に沿って説明が行われた。市民へのアンケート等により、旧駅舎自体には手をつけないこととなった。検討案の一つのビオトープや、大学通りから旧駅舎への眺望について等、意見が交わされた。

まちの振興課から旧国立駅舎木製改札の一部着脱式への変更について、資料に沿って説明が行われ、その後、意見が交わされた。現状の木製改札は、車いすだけでなく、ベビーカー・シルバーカーが通ることが困難である。委員からは着脱式への変更について了解が得られた一方で、変更後の着脱に関する運用については、今後検討が必要との意見があった。

（3）国文学研究資料館北野克旧蔵書画の基礎的研究について

はじめに、事務局より、本田家と北野克とのつながりを資料に沿って説明が行われた。その後、国文学研究資料館北野克旧蔵書画の基礎的研究 研究代表者の合山林太郎氏より資料に沿って説明が行われた。

市としては、本田家旧蔵資料をさらに活用するために、漢文学の研究も必要だと考えていたところに国文学研究資料館、合山氏にお声をかけていただいたので、合山氏に協力を頂き連携をとっていきたい旨、事務局から委員に相談したところ、委員からは賛成の意見を頂いた。

【報告事項】

(1) 旧本田家住宅復原工事について

事務局より資料に沿って説明が行われた。また、変更等あり工期が4カ月遅れることになった旨、説明した。

昨今の気象を懸念し、茅葺屋根の芝棟の維持が大変だと委員より心配の声があつた。

委員より、本田家のオープン後の展示計画についての質問があり、事務局より、展示設計を委託中であるので、ある程度の内容が見えてきたら、情報提供する旨、回答した。

(2) その他

委員より、谷保天満宮の拝殿の天井画の剥落を心配し、文化財指定をして、保存の手当てを考えたらどうか、また、たましんの中島登コレクションも文化財指定の対象にしたらどうかの提案もあつた。

○次回の文化財保護審議会日程については、後日日程調整することとした。